2019年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	eビジネス経営論 (e-Business Management)		
ナンバリングコード	P30903	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 応用レベル eビジネス論
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 / 前期
必修・選択区分	コース必修:情報コミュコース 選択:情報工学コース、メディアデザインコース、こども・情報教育コース		
授業コード	P090301	クラス名	
担当教員名	中山　直樹		
履修上の注意、履修条件	指定席制□ 遅刻・欠席をしないように心がけてください。□		
教科書	井上善海、佐久間信夫 共著「よくわかる経営戦略論」(ミネルヴァ書房)　□		
参考文献及び指定図書	大滝精一、金井一頼、山田英夫、岩田智共著「経営戦略」(有斐閣)　□		
関連科目	情報システム基礎、情報システム論、プログラミング入門、プログラミング言語、データベース論、ネットワーク論、経営情報論、会計情報処理論、情報会計論、社会情報論、経営情報システム事例		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	情報を活用した戦略的企業経営への関心を強く持つこと		10点	
【知識・理解】	経営情報学の基礎的知識と応用的な経営戦略に関する知識を修得すること	40点		
【技能・表現・コミュニケーション】	戦略策定の方策を自らの生活や実社会に置き換えて適応できること	10点		
【思考・判断・創造】	情報を活用した新たなビジネス戦略を創造的に企画できること	20点	20点	

○到達目標に対する到達度の目安、および、成績評価の補足

講義を通じて獲得した知識を活用して、自分なりに適応した思考や企画を持てるかを見る。

○授業の目的・概要等		
授業の目的	この科目の目的は、全てのビジネスに共通する様々な経営戦略手法について具体例を交えながら考察することを通して、eビジネスならではの特徴的な戦略について理解を深めることにあります。高度経済成長の終焉に伴い日本企業が大きな転換点を向かえている今日、企業間競争における生き残りにおいて最も大きなポイントとなるのが経営戦略です。具体的には、ドメイン決定、PPM(ポートフォリオマネジメント)、多角化戦略、グローバリゼーション、プロダクトライフサイクル、競争メカニズム分析、M&A、アライアンス、SEO、OnetoOneマーケティングなどを習得していきます。□	
授業の概要	社会情勢の多様化や情報技術の進展に伴って、企業経営は複雑になり、経営戦略は、ますます重要になっています。この授業では、情報社会における経営戦略とは何かということを基本的に理解し、ドメインの定義や決定方法をはじめとして、資源展開の戦略、競争戦略、組織間関係の戦略、経営戦略の策定、経営戦略・イノベーションなどについて学習します。このように、経営戦略の革新、新規事業創造の戦略、経営戦略と組織の在り方や経営戦略の新しい潮流などを含めて、経営戦略の基本を学習します。　□	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目		

○備考欄

2019年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画　科 目 名 : eビジネス経営論（e-Business Management ）　授業コード:P090301
担当教員: 中山　直樹

学修内容

1.
経営戦略とは
経営戦略とは何かを学びます。学習項目としては、経営戦略の意義、経営戦略の研究の流れ、経営戦略の概念と内容、経営戦略の二面性、現代企業の経営戦略の要件などを取り上げます。

予習: （約2.0h）
復習: （約2.0h）

2.
eビジネス経営概説
インターネットが普及し、情報化が進んだ現代社会での企業経営について、その特色や戦略を学習します。情報化に成功した企業や失敗した企業の具体例を通じて、高度情報化社会における企業経営戦略の意義や重要性を考察します。

予習: （約2.0h）
復習: （約2.0h）

3.
事業領域の定義
事業領域の定義について学習します。学習項目としては、企業ドメインとは、ドメイン定義の意義と考え方、ドメイン定義の次元、企業ドメインと事業ドメイン、企業の成長とドメインの変化などを取り上げます。

予習: （約2.0h）
復習: （約2.0h）

4.
戦略の策定
戦略の策定について学習します。学習項目としては、企業戦略の策定、事業戦略の策定、外部環境の分析、経営資源の分析、経営資源と戦略などを取り上げます。

予習: （約2.0h）
復習: （約2.0h）

5.
競争の戦略
競争の戦略について学習します。学習項目としては、セグメンテーション、競争の基本戦略、競争と強調の戦略、攻撃戦略、タイムベース競争などを取り上げます。

予習: （約2.0h）
復習: （約2.0h）

6.
新規事業創造の戦略
新規事業創造の戦略について学習します。学習項目としては、新規事業創造の戦略の意義、大企業における新規事業創造の条件、新規事業創造におけるミドルの役割などを取り上げます。

予習: （約2.0h）
復習: （約2.0h）

7.
企業の製品戦略
企業の製品戦略について学習します。学習項目としては、プロダクトポートフォリオマネジメント（PPM）、プロダクトライフサイクル（PLC）、経営資源の最適配分、成長のための戦略投資理論などを取り上げます。

予習: （約2.0h）
復習: （約2.0h）

8.
ネットワーク戦略／理解度確認テスト
ネットワーク戦略について学習します。学習項目としては、ネットワーク型アライアンス、ネットワーク組織、シナジー戦略、先進企業のバーチャル組織などを取り上げます。また、講義の後半では理解度確認のための小テストを実施します。

予習: （約2.0h）
復習: （約2.0h）

○授業計画　科 目 名 : eビジネス経営論（e-Business Management ）　授業コード:P090301
担当教員: 中山　直樹

学修内容

9.
グローバル戦略
グローバル戦略について学習します。学習項目としては、グローバル戦略の問題、グローバル戦略と経営環境、グローバル戦略と経営資源、グローバル戦略と経営組織、グローバル戦略の変化などを取り上げます。

予習: （約2.0h）
復習: （約2.0h）

10.
成長の戦略
成長の戦略について学習します。学習項目としては、成長のための協同政策であるアライアンス、成長の最大戦略であるM&A、経営資源の戦略的活用、リスク・マネジメントなどを取り上げます。

予習: （約2.0h）
復習: （約2.0h）

11.
経営戦略と社会
経営戦略と社会について学習します。学習項目としては、企業と社会、企業の社会的責任と社会的貢献、経営戦略と国際社会、企業のガバナンス、企業の経済戦略と社会戦略などを取り上げます。

予習: （約2.0h）
復習: （約2.0h）

12.
経営戦略の実現
経営戦略の実現について学習します。学習項目としては、人と組織のマネジメント、組織構造、組織と情報システム、インセンティブ・システムと人事制度、組織文化などを取り上げます。

予習: （約2.0h）
復習: （約2.0h）

13.
経営の変革（イノベーション）
経営の変革（イノベーション）について学習します。学習項目としては、企業イノベーション、イノベーションマネジメント、企業革新のモデル、成熟企業における企業革新などを取り上げます。

予習: （約2.0h）
復習: （約2.0h）

14.
企業の情報戦略
企業の情報戦略について学習します。学習項目としては、経営情報システム、ビジネスプロセス革新（BPR）、eビジネス経営、ナレッジ・マネジメントなどを取り上げます。

予習: （約2.0h）
復習: （約2.0h）

15.
高度情報化社会の先進的経営戦略手法
インターネットの高度技術を駆使した経営戦略手法題について学習します。学習項目としては、SEO・SEMや米国企業の先進手法などを取り上げ、事例と視聴覚教材などを通じて学習します。

予習: （約2.0h）
復習: （約2.0h）

16. 期末試験
期末試験
試験時間は80分で、教科書の持込を可とします。

予習:
復習: